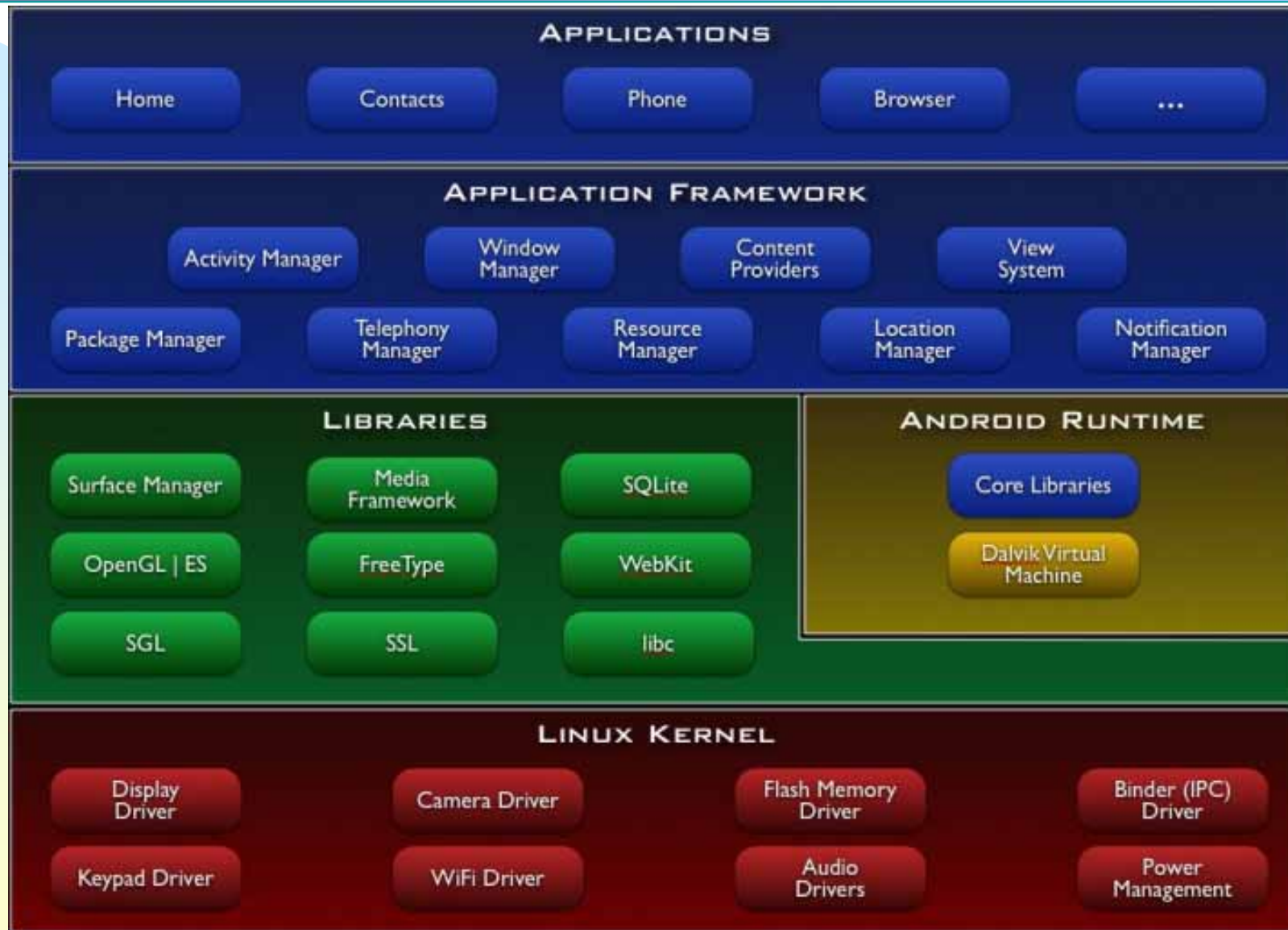


# Androidアプリ開発概要 (抜粋編)

2009年度

(株)システムサイエンス研究所



<http://developer.android.com/> より

# ビジネスプランモデル

Android携帯電話端末により多彩な携帯APが安価で実現できるようになった。

- クルマ運行管理AP
  - ◆ 事故検知・記録
  - ◆ 乗り心地計測・運転テクニック測定
  - ◆ 乱暴運転防止
  - ◆ 燃費計測
  - ◆ 自分・仲間の位置情報取得・通知
- 携帯電話やネットブックでプレゼン
  - ◆ プロジェクト内蔵の携帯電話 / ネットブックPC (Android)
  - ◆ 携帯電話とPC (Android)のデータ同期
- 宅配業者、外回り営業向けAP
  - ◆ 位置情報取得・通知
  - ◆ バーコード、RFID、Felicaでの決済

# ビジネスプランマトリクス

クルマや外回り業務向けAPを中心にそろえた。  
ハードは携帯電話または簡易カーナビとする。

項目	概要	ターゲット
事故検知・記録	クルマのフロントに設置して動画を記録することで事故直前の記録を残す。	クルマ一般
乗り心地計測 乱暴運転防止	Gセンサを利用して乗り心地を計測する。 荒っぽい運転は電話で警告。	タクシー、バス、 宅配会社
位置情報通知	車両運行管理、配送荷物の位置。 複数のクルマでお出かけ時の仲間の位置。	タクシー、運送会 社、クルマ一般
走行レコード	レコードラインから燃費を算出する。	クルマ一般
販売促進	もうすぐヤクルトレディが来るのがわかる。 電話で予約注文。バーコード売上送信。	ヤクルト

# システム構成(1)

- Android携帯電話
  - ◆ 位置情報
  - ◆ Gセンサ
  - ◆ 電子決済
    - ☞ バーコード
    - ☞ RFID
  - ◆ プロジェクト内蔵
- Androidポータブルカーナビ
  - ◆ Android携帯とのデータ同期・互換
  - ◆ Linux+Android
- ビジネスPC
  - ◆ Android携帯とのデータ同期・互換
  - ◆ プロジェクト内蔵
  - ◆ Windows+Android



# パネルコンピュータへの応用

## 組込系プラットフォームへの適用

### Arm adillo-500FX

- ・高性能なパネルコンピュータ開発プラットフォームへのAndroid 基盤とAPの移植
- ・適用方式の優位性と評価

# モバイルPC(注)およびビジネスPC への適用

- ・Android携帯とのデータ同期・相互活用
- ・プロジェクト内蔵PCへの応用
- ・Windows + Android
- ・クラウド基盤ユーカリ(Eucalyptus)の端末機能  
への適用(Windows OSに取って代わられる可能性あり)

(注)モバイルPC:

ミニ・ノート(ネット)PC、シン・クライアント(Thin client)PC  
等を含む

# Androidソフト開発実績(含開発中)

対象システム	概要	特記事項
携帯電話 (スマートフォン)	<p>ドライバーコンテスト: ゴルフと飛距離を競うアプリ。接待モードあり</p> <p>パターゴルフ: コースを手書き可能。穴直前でのアニメーションあり</p> <p>たま転がし: 装置を傾けることにより球を転がし穴に入れるアプリ</p> <p>手書き君: 日本語の手書き認識アプリ。現在サーバモードだが認識エンジンを組み込む予定</p> <p>そろそろ君: スケジューラー。あらかじめ予定時間と場所を設定すると自動計測により出発時刻を知らせるアプリ</p> <p>番犬君: セキュリティ対策: 本アプリを起動した端末を手荷物などの前に設置しておきます。手荷物を盗もうとすると番犬君がほえるアプリ</p> <p>テルミン: エンターテインメント: 技術: 傾きセンサー、音波形。傾きセンサーの角度により音階を変え「かえるの歌」を合奏するソフト</p>	<p>・ソフト技術: Linux + Java + Android基盤</p> <p>・テルミン(左記): Android Developer Challenge 2 に出展 のアプリ</p>
パネルコンピュータ	上記のアプリの中より適宜展開(角度センサー等の機能無)	<p>・ソフト技術: Linux + Java + Android基盤</p>
インターネット 端末等	ウィジェット(部品)ソフト	<p>・ソフト技術: Linux + Java + Android基盤</p>

# 弊社のAndroidソフト開発体制

2008年下期より社内研究会を立上げ、2009年上期よりソフトウェア開発体制を整備中

ソフト技術領域	PM(プロジェクトマネージャ)クラス	PL(プロジェクトリーダー)クラス	開発担当クラス
Linux + Java + Android基盤	1 ~ 2名	2 ~ 3名	5 ~ 10名
合計	8 ~ 15名		

(注)その他、組込系ベテラン技術者(C言語専門開発)も逐次上記ソフト領域にも技術マスター中